令和2年2月20日

令和2年 第2回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

令和2年第2回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 令和2年2月20日（木曜日）午後2時00分～午後3時16分

2. 場 所 中央公民館301学習室

3. 出席委員 1番 真 如 昌 美（教育長）

2番 岩 田 圭 子

3番 藤 宮 志津子

4番 新 藤 久 典

5番 内 野 裕 子

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

学校教育部長 田 村 美 砂

社会教育部長 小 俣 学

学校教育部

参 事 兼 佐 藤 洋 士

教育総務課長 石 川 博 隆

教育指導課長

建築課長兼

教育施設担当

副 参 事 中 橋 健

給 食 課 長 齋 藤 謙二郎

統括指導主事 吉 岡 琢 真

社会教育課長 高 田 匡 章

中央公民館長 佐 伯 芳 幸

中央図書館長 當 摩 弘

6. 書 記

庶務係長 一ツ木 正 美

主 事 後 藤 梨里香

○議事日程

第1 会議録署名委員の指名

第2 教育長諸務報告

第3 第1号報告 事務の臨時代理の承認について

第4 第7号議案 東大和市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則

第5 第8号議案 東大和市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

第6 第9号議案 令和2年度東大和市学校運営協議会の設置について

第7 第10号議案 令和2年度東大和市学校給食事業計画（案）及び令和2年度東大和市学校給食会計予算（案）の承認について

第8 第11号議案 東大和市スポーツ推進委員の委嘱について

第9 その他報告事項 (1) 「東大和市立小・中学校アレルギー疾患への対応マニュアル」の改訂について

(2) 令和元年度小・中学校卒業式告辞（案）について

(3) 第11回中学生「東京駅伝」大会報告について

(4) 地区図書館の開館日及び開館時間等の見直しについて～市立図書館における検討結果～（案）

(5) 「東大和市子ども読書活動推進計画 平成30年度実施状況報告書」について

◎開会の辞

○真如教育長 ただいまから令和2年第2回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○真如教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、藤宮委員にお願いします。

○藤宮委員 はい、分かりました。

○真如教育長 よろしくお願いします。

ここで、傍聴の許可についてお諮りいたします。

本日の会議につきまして、傍聴を許可することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、傍聴を許可いたします。

よろしくお願いします。

◎日程第2 教育長諸務報告

○真如教育長 日程第2、教育長諸務報告を行います。

令和2年1月29日から令和2年2月17日までの諸務報告であります。

1月29日、水曜日、東大和州市制50周年記念事業及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組推進本部会議に出席をいたしました。その後、東京都市教育長会幹事会、定例会及び東京都教育委員会との連絡会に出席をいたしました。

1月31日、金曜日、第四小学校の算数教育課題研究指定校発表会に参加し、視察をしてまいりました。

2月2日、日曜日、令和元年度第11回中学生東京駅伝大会を視察いたしました。このことにつきましては、後ほどまた教育指導課から説明があるかと思っておりますので、省略いたします。女子が随分頑張ったということだけお伝えしておきます。

2月3日、月曜日、いじめ問題対策連絡協議会に出席をいたしました。その後、

七市教育長会に出席をいたしました。

2月4日、火曜日、東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会に出席をいたしました。

2月5日、水曜日、東大和市小学校教育研究発表会に出席をいたしました。

2月6日、木曜日、校長会役員会に出席をいたしました。その後、ふれあい市民運動会第1回実行委員会に出席をいたしました。

2月7日、金曜日、第六小学校の算数教育課題研究指定校発表会を視察いたしました。

2月12日、水曜日、東京都市教育長会定例会に出席をいたしました。

2月13日、木曜日、教育委員懇談会に出席をいたしました。

2月14日、金曜日、多摩特別支援教育研究会 劇と音楽の会を視察いたしました。また、第八小学校の外国語教育課題研究指定校発表会に出席をいたし、視察いたしました。

2月17日、月曜日、学校給食センター運営委員会に出席をいたしました。

以上でございます。

教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告につきまして、ご質疑がございましたらご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第1号報告 事務の臨時代理の承認について

○真如教育長 日程第3、第1号報告 事務の臨時代理の承認について、人事案件であることから会議を非公開といたします。これに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○真如教育長 ありがとうございます。

賛成者多数。よって、会議は非公開といたします。

さらに、本案の会議録及び会議資料の取扱いにつきましてお諮りいたします。本案の会議録及び会議資料につきましても非公開としたいと思いますが、これにご異議ないでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、そのように取扱いいたします。

ここで、関係者以外の退場を求めます。関係者以外退場をお願いいたします。

(一部執行部退室)

(この間非公開)

ここで会議の非公開を解きます。退場者の入場を認めます。

お願いいたします。

(一部執行部入室)

○真如教育長 続けます。

◎日程第4 第7号議案 東大和市立学校の学校医、学校歯科医及び
学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則

○真如教育長 日程第4、第7号議案 東大和市立学校の学校医、学校歯科医及び
学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について、
本件を議題に供します。

議題の説明をお願いいたします。

学校教育部長。

○田村学校教育部長 ただいま議題となりました第7号議案 東大和市立学校の学
校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を
改正する規則について、提案理由並びに内容をご説明申し上げます。

本規則につきましては、令和2年4月1日から施行される民法の一部を改正す
る法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律により、東京都の公立学校の
学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する法律が一部改正され
たことに伴い、東京都に準じて一部改正をするものであります。

一部改正の内容につきまして、ご説明させていただきます。

第7号議案に資料といたしまして、新様式と旧様式を添付させていただきました
ので、併せてご覧いただきたいと存じます。

今回は、第2号様式を一部改正させていただきます。第2号様式の（裏）と書いてある面でございます。そちらの備考の2の中で、「2年間」を「これを行することができる時から2年間」に、「5年間」を「、5年間」に、「行わない」を「行使しない」に、「時効」を「、時効」に一部改正をさせていただくものであります。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

よろしいですか。

（発言する者なし）

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第4、第7号議案 東大和市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○真如教育長 ご異議なしと認め、第7号議案 東大和市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について、本件を承認と決めます。

◎日程第5 第8号議案 東大和市教育委員会いじめ問題対策委員会
委員の委嘱について

○真如教育長 日程第5、第8号議案 東大和市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

学校教育部参事。

○佐藤学校教育部参事兼教育指導課長 ただいま議題となりました第8号議案 東大和市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について、提案理由並びに内容をご説明申し上げます。

東大和市教育委員会いじめ問題対策委員会は、東大和市いじめ防止対策推進条例第11条第1項の規定により設置するもので、同条第5項において、本委員会は

学識経験を有する者、法律、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者等のうちから教育委員会が委嘱する委員7人以内をもって組織することの規定に基づきご提案申し上げるものであります。

それでは、委嘱する委員につきましてご説明申し上げます。

学識経験を有する者として、東京学芸大学特任講師、梅山佐和氏、東京純心大学講師、神山直子氏、元小学校長、大中勲氏の3人。福祉に関する専門的な知識を有する者として、東大和市民生・児童委員及び主任児童委員の小林恵氏。その他の関係者として、保護司会東大和分区長の原正男氏の合計5人について、本委員会委員の委嘱を予定するものであります。

なお、委員の任期につきましては、本年3月1日から令和4年2月28日までの2年を予定しております。

また、法律に関する専門的な知識を有する者及び心理に関する専門的な知識を有する者については、現在、委員就任について要請中であることから、本議案とは別に教育委員会に改めてご提案をさせていただき予定としております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

新藤委員。

○新藤委員 ありがとうございます。

特に学識経験を有する者ですけれども、いじめ問題に関わって何かこれまでの実績等がおありになってお願いをした部分があるのでしょうか。答えられる範囲で結構ですので、お答えいただければと思います。

○真如教育長 学校教育部参事。

○佐藤学校教育部参事兼教育指導課長 初めに、上段にあります梅山佐和先生ですけれども、東京学芸大学に現在お勤めになっております。その前の略歴といたしましては、同志社大学や立命館大学において社会福祉士の養成、あるいは教員養成課程に携わりながらスクールソーシャルワーカーとして京都市初め複数の自治体のソーシャルワーカー活用事業に携わり、学校現場においても教育と福祉のチームによる子ども家庭支援の実践を行ってきている方と伺っております。また、京都市のいじめ防止条例に基づく会議の委員も担っていたということでお聞きをしております。そのような経緯からお願いをするに至っております。

お二人目、神山直子先生ですけれども、現在は東京純心大学の講師でございますが、もともと東京都の公立小学校の教員、また行政も東村山市教育委員会の指導主事、統括指導主事、また東京都教育庁の統括指導主事、そして主任指導主事、この東京都の主任指導主事をされているときには人権教育を担当されていたということで、このいじめ問題にも大変造詣の深い方であると認識をしております。社会的な活動としても、男女平等参画に関する内容ですとか、文部科学省の人権教育の調査会議の委員などを歴任されている方ということで、いじめ問題の部分でも十分力を発揮していただけるのではないかと考えてございます。

三人目、大中勲先生ですが、昨年度まで本市第九小学校の校長先生でありました。これまでの校長先生としての実績はもちろんありますし、東大和市の内容にも大変お詳しいというところ、そして現在は退職をされておりますけれども、依然として学校に関わっていただいている実績もございますので、当市の委員会委員に適任であると考えてございます。

以上であります。

○新藤委員 ありがとうございます。

○真如教育長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第5、第8号議案 東大和市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第8号議案 東大和市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について、本件を承認と決めます。

◎日程第6 第9号議案 令和2年度東大和市学校運営協議会の設置 について

○真如教育長 日程第6、第9号議案 令和2年度東大和市学校運営協議会の設置について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いします。

学校教育部参事。

○佐藤学校教育部参事兼教育指導課長 ただいま議題となりました第9号議案 東大和市学校運営協議会の設置について、提案理由並びに内容をご説明申し上げます。

本件は、令和2年度から実施する学校運営協議会を設置する学校、いわゆるコミュニティ・スクールを決定するものでございます。市内の全小・中学校へ協議会設置の意向を確認したところ、小学校では5校、中学校では2校の計7校で希望があったところでございます。7校のうち第五小学校については、準備期間を要すると判断をし、令和2年4月1日から学校運営協議会を設置する学校を東大和市立第七小学校、第八小学校、第九小学校、第十小学校、第四中学校、第五中学校の計6校で決定したいというものでございます。

ご審議よろしくお願いいたします。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。よろしいですか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第6、第9号議案 令和2年度東大和市学校運営協議会の設置について、本件を承認とすることにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第9号議案 令和2年度東大和市学校運営協議会の設置について、本件を承認と決めます。

◎日程第7 第10号議案 令和2年度東大和市学校給食事業計画
(案)及び令和2年度東大和市学校給食
会計予算(案)の承認について

○真如教育長 日程第7、第10号議案 令和2年度東大和市学校給食事業計画(案)及び令和2年度東大和市学校給食会計予算(案)の承認について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

学校教育部長。

○田村学校教育部長 ただいま議題となりました第10号議案、令和2年度東大和市

学校給食事業計画（案）及び令和2年度東大和市学校給食会計予算（案）の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、東大和市学校給食センター設置条例第7条の2第1項に基づきまして、令和2年2月17日付で教育委員会から東大和市学校給食センター運営委員会に諮問し、答申をいただいております。

答申内容は、事業計画及び予算ともに諮問内容のとおりとなっておりますことから、ご報告申し上げます。

以上であります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。よろしいですか。

（発言する者なし）

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第7、第10号議案 令和2年度東大和市学校給食事業計画（案）及び令和2年度東大和市学校給食会計予算（案）の承認について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○真如教育長 ご異議なしと認め、第10号議案 令和2年度東大和市学校給食事業計画（案）及び令和2年度東大和市学校給食会計予算（案）の承認について、本件を承認と決めます。

◎日程第8 第11号議案 東大和市スポーツ推進委員の委嘱について

○真如教育長 日程第8、第11号議案 東大和市スポーツ推進委員の委嘱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

社会教育部長。

○小俣社会教育部長 ただいま議題となりました第11号議案 東大和市スポーツ推進委員の委嘱についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

現在のスポーツ推進委員の任期が本年3月31日をもって満了となりますことか

ら、次期の委員についてご提案申し上げるものであります。

スポーツ推進委員は、東大和市スポーツ推進委員に関する規則第2条の規定に基づき、東大和市におけるスポーツの推進に係る整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から委嘱することとされております。ご提案申し上げます委員につきましては、お手元の議案書に記載のとおりでありまして、15人の方全員が再任であります。

なお、任期につきましては、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間であります。

以上でございます。どうぞよろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。よろしいですか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第8、第11号議案 東大和市スポーツ推進委員の委嘱について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第11号議案 東大和市スポーツ推進委員の委嘱について、本件を承認と決めます。

◎日程第9 その他報告事項

○真如教育長 日程第9、その他報告事項を行います。

報告事項(1)「東大和市立小・中学校アレルギー疾患への対応マニュアル」の改訂について、本件の報告をお願いいたします。

教育総務課長。

○石川教育総務課長 それでは、その他報告資料(1)をご覧ください。

東大和市立小・中学校アレルギー疾患への対応マニュアルということでございます。こちらの一部改訂ということで、このマニュアルにつきましては、学校におけますアレルギー対応についてまとめたものでございまして、学校給食におき

まして、症状が重篤となる食材の使用を禁止して、また学校における食物アレルギーの事故を防止するためでございます。平成25年の3月に制定されて、平成25年8月に第1回目の改訂が行われ、それから平成29年、今の現行の給食センターが稼働するに際しまして、そこで除去食の提供というところでまた改訂があり、本年、この令和2年の4月から新たに学校給食センターにおきまして、牛乳、乳飲料及びパンの代替食で豆乳及び乳成分のない乳抜きパンを提供する代替食を開始することに併せまして、所要のマニュアルの改訂を行ったものでございます。

詳細につきましては、後でご一読いただければと思います。その中で、様式等も改めておりますが、一部様式の中でまだ詰め切れていない部分もございますけれども、4月の代替食提供に向けて、担当と精査して、滞りなく進めていきたいと考えてございますので、よろしく申し上げます。

私からは以上です。

○真如教育長 給食課長。

○斎藤給食課長 本日お配りしております資料のうち、今石川課長からご説明ございましたが、様式が若干今修正中のものが紛れ込んでおりまして、実際には直っていますけれども、様式7でございます。

様式の7の箇所でございますが、1ページ目をおめくりいただきまして、実際には3ページ目ですが、8番の食物アレルギーの原因食品が、学校給食除去食対象品目の場合ということで、除去食のみ記載されています。本来は代替食を記載すべきですが、まだ記載されていません。修正途中のものを、資料として添付してしまっておりますので、後日大変恐縮ですけれども、差し替えをさせていただければと思います。

併せて、もう一様式ありまして、様式の16番でございます。様式の16番は、表と網がけのものになっております。表題が除去食・代替食対応献立表となっておりますが、実はこの下の・除去食、・提供なしとありますが、本来であれば代替食と、先ほど石川課長から説明がありましたとおり、この下の例示ですけれども、除去食のみを希望する方、代替食も希望する方で2パターン出てくるので、本来2種類あったほうが良いと思いますが、例えば4日の月曜日のところで、料理名の欄で横割り丸パンとありますが、提供なしとなっておりますが、除去食のみ希望の場合には提供なしですけれども、代替食を希望される場合は乳抜き丸パンが提供されます。同じようにその下の牛乳も提供なし、もしくは豆乳に変わるこ

とになりますので、特にこの2様式ですが、修正途中のものが紛れてしまっており、大変申し訳ございませんが後日差し替えをさせていただければと思います。よろしく申し上げます。

○真如教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

新藤委員。

○新藤委員 非常に積極的に対応していただいている、ありがたいなと思っています。このアレルギーの問題は年々厳しい状況があって、以前に調布市の小学校でも死に至るという非常に残念な事件もありました。本当に学校に関わるものというのは、はっきり言うと一つの失敗も許されないものですから、代替食が提供なしというのが一番分かりやすいですけれども、代替食となると果たして今度は各教室のところでその代替食が担任の手を通じてきちっと本人に渡ることかどうかということも含めて非常に徹底していかなくてはいけない部分だと思いますので、こうした様式等の細かいマニュアル等を作成と同時に、学校に対する研修、それからそういったことに対する教職員の意識づけなども教育指導課と一緒に携わっていただけて徹底をしていただきたいなと思っており、よろしく申し上げます。

○真如教育長 ほかにございませんか。

研修は年にどのぐらい行っているのですか。

○斎藤給食課長 研修ですか。

○真如教育長 学校で研修、これも生かされていくのだらうと思いますけれども、研修の機会というのはどのぐらいありますか。

○斎藤給食課長 まず、除去食を新センターで始めたときですけれども、必ず職員室で最初のときに全員を集めていただいて、職員全員に対して栄養士から説明をし、手順等を含めまして提示しました。それ以降は、新しく該当者がいた学校には、その度に研修を重ねていって、それ以降は、各学校において独自で養護の先生を中心にアレルギーに関する勉強会等をしていただいている状態でございます。

今回につきましても、この内容で除去食と代替食にはなりますけれども、流れは全て今まで行ってきた除去食と同じ流れになります。その中に代替食が含まれることになりますので、大きな混乱はないとは思っておりますが、1回目はご指摘いただきましたとおり、十分注意して対応したいと思っております。

以上でございます。

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

続きまして、その他報告事項（２）令和元年度小・中学校卒業式告辞（案）について、本件の報告をお願いいたします。

統括指導主事。

○吉岡統括指導主事 それでは、令和元年度小・中学校卒業式告辞（案）について説明をいたします。

先日、２月13日の教育委員懇談会で頂きましたご意見を踏まえ、訂正した小学校告辞（案）を資料として載せてあります。また、中学校においては、特段ご意見いただきませんでしたので、そのまま載せさせて配付させていただいております。

この資料につきましては、事前に配付させていただいておりますことから、本日、委員の皆さまに確認をしていただき、（案）を取らせていただいで確定版として使用していきたいと考えております。何とぞよろしく申し上げます。

以上でございます。

○真如教育長 報告が終わりました。

何かご質疑があれば、ご発言をお願いしたいです。

岩田委員。

○岩田委員 先日の懇談会で意見として出させていただいて、とてもすっきりして分かりやすい内容に変えていただきありがとうございました。

以上です。

○真如教育長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

（発言する者なし）

○真如教育長 それでは、ないようですので、質疑を終了いたします。

報告事項（３）第11回中学生「東京駅伝」大会報告について、本件の報告をお願いいたします。

統括指導主事。

○吉岡統括指導主事 それでは、報告事項（３）第11回中学生「東京駅伝」大会報告について説明いたします。

令和２年２月２日、日曜日、アミノバイタルフィールド都立武蔵野の森公園特

設周回コースにおいて開催され、東大和市を代表する中学2年生男女21人ずつが参加いたしました。

東大和市駅伝チームにつきましては、選手選考会、結団式、練習会を経て大会当日を迎えました。なお、練習会では、今年度も東京都立東大和高等学校陸上部の皆さんにご協力いただきました。

大会当日は、男子の部、女子の部ともに健闘いたしました。

資料をご覧くださいと思いますが、資料のとおり、女子の部が37位、男子42位、男女総合40位という結果でありました。

なお、次の資料をめぐっていただきますと、特別賞となつてございますが、女子の部については、目標としていた東大和市の歴代記録を9秒更新することができたところであります。

以上でございます。

○真如教育長 説明が終わりました。

何かご質問ありますでしょうか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、報告が終わりましたので、先に進ませていただきます。

報告事項(4) 地区図書館の開館日及び開館時間等の見直しについて～市立図書館における検討結果～(案)について、本件の報告をお願いいたします。

社会教育部長。

○小俣社会教育部長 その他報告事項(4) 地区図書館の開館日及び開館時間等の見直しについて～市立図書館における検討結果～(案)ではありますが、本件につきましては、平成28年8月に市長からの地区図書館への指定管理者制度導入の検討依頼を契機といたしまして、かねてから市民等の皆さまから頂いておりましたサービス拡充の要望にお応えするため、図書館において検討を重ねてきた案件であります。これまで教育委員懇談会におきましても、幾度か進捗状況等をご報告させていただいてまいりましたが、このたび最終的なまとめができましたのでご報告させていただくものであります。

結論的には、現行体制の直営によるサービスの拡充は困難であり、指定管理者制度の導入は一定の効果が望める手段になると考えるものであります。

詳細につきましては、中央図書館長からご説明させていただきますが、最終的にご了承がいただけるようであれば、その後、市長部局へも報告し、指定管理者

制度導入に向けさらに次の段階へ検討を進めさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 それでは、資料に沿いまして説明をさせていただきたいと思っております。

資料の1ページをご覧ください。

I、東大和市立図書館協議会答申までの経過ということですが、こちらにつきましては、市長からの指定管理者制度導入についての検討依頼を受けましてから、東大和市立図書館協議会に地区図書館の開館日及び開館時間等の見直しについてとしまして諮問を行い、平成30年2月15日に答申を頂くまでの経過等の対応などにつきまして記載をさせていただいております。

次に、4ページをお開きいただきたいと思います。

図書館におきましては、近隣市の状況とあまり差異もなく、社会状況や地域の実情等も踏まえまして、市民等に納得していただけるようなバランスの取れた見直し内容について、答申や利用者アンケート等を参考に館長係長会議等を重ねまして徐々に整えてまいりました。その検討結果がこの4ページのII、開館日及び開館時間等の検討についてのところで記載されております。

まず、1の見直しの内容についてでございますが、3点ございまして、1つ目としましては、清原図書館の休館日を週1日とすること。それから2点目としましては、桜が丘図書館の夜間開館を午後7時まで週2日実施すること。それから3点目としまして、祝日は開館する。以上の3点を市立図書館として社会状況及び地域の実情を勘案し、市民の皆さまに説得できる最低限必要な見直しということで考えた内容となっております。

同じ4ページの2番、地区図書館の勤務体制から7ページの3の中央図書館の勤務体制、こちらにつきましては、今設定しました3点の見直し案を実施するための勤務体制について、地区図書館別及び中央図書館の順に検討した内容を記載してございます。検討結果といたしましては、両地区館につきましては、現行正規職員2人、嘱託員2人を基本体制としておりますが、こちらを正規職員3人、嘱託員1人の体制にすることといたしました。

具体的な変更内容につきましては、5ページ、6ページの表のとおりになってございます。

それから、中央図書館につきましては、新たな人員や予算を伴わずに行うこととしておりますので、各地区館へ正規職員を1人配置換えすることになり、具体的な変更内容といたしましては、7ページの下表ですが、こちらのとおりとなります。

次に、8ページをご覧ください。

5の業務実態調査についてであります。こちらはバックヤード業務を含む図書館全体の業務を把握するために実施した調査であります。見直し後の勤務体制でこれらの業務が実際に処理できるかどうか確認するためのものにもなっております。

また、9ページ、6の試行による確認、こちらにつきましては、単に机上のことだけではなくて、実際にそういった業務が遂行できるかどうか試行を踏まえて検証してきたものであります。具体的には、火曜日の休館日に行っておりました職員会議や選書会議などを別の開館日に行うことが可能かどうか、こちらを検証してまいりました。ただ現状では、結局元の火曜日に戻すという結果になっております。

それから、10ページをお開きください。

7の試行後の経過についてであります。こちらは昨年5月8日の教育委員懇談会で、直営での見直しは現実的で具体的な提案を出すことができなかったということでご報告させていただいておりましたが、その年の7月末に事業係から事業仕分案を今回63ページの別紙5として仕分案を添付させていただきましたが、こちらの提案がされたということで、内容を確認することといたしました。

しかし、この提案につきましては、各係員の意見を単に取りまとめたものになっておまして、基本的な整備の仕方や活用の仕方が十分整理できていなかったということがございまして、結果としましては、この案を採用することができませんでした。

そして、12ページになります。

8の現体制による見直しの検討結果ですが、以上説明してきたことから、現体制による見直しにつきましては、現実的で具体的な提案を出すことができず、見直しは困難であるという判断をさせていただいた結果になりました。

続きまして、今度は13ページになります。

こちらにつきましては、指定管理者制度に関する検討になります。指定管理者

制度の導入につきましては、近隣の先進市の状況、あるいは図書館協議会からの答申における附帯意見や利用者アンケート等を参考にいたしまして、以下にメリットとデメリットということで整理をさせていただいております。

まず、13ページの1のところの指定管理者制度のメリットは5点ほど挙げさせていただいております。1点目につきましては、予算の範囲内で、開館日、開館時間が拡大可能であるということ。それから2点目としましては、民間事業者のノウハウを活用したサービスの向上の期待ができるということです。3点目としましては、専門性を備えた職員の配置の可能性が高まるということになります。それから4点目ですが、こちらは職員相互の相乗効果といいたしやうか競争意識、こういったものが期待できるという内容です。それから5点目としましては、地区図書館の正規職員の他部署への配置が可能となることがメリットとして挙げられると考えております。

それから、14ページになります。

こちらは、指定管理者制度を導入した場合の懸念とその対応になります。こちらにつきましては、8項目挙げさせていただいております。まず1点目が経費の関係ですが、資料購入を控えてしまう可能性はないのかということですが、資料の管理につきましては中央図書館で全部管理しますので、心配はないです。

それから、2点目としましては、資料の購入について偏った選書にならないかということですが、こちらにつきましても、最終的に中央図書館で判断いたしますので、偏った選書にはならないと考えます。

それから、3点目、労務及び経費等の削減のために、地域・学校等との連携に消極的になってしまう可能性はないのかということですが、現行行っている内容のサービスであれば、特に実施は可能であると考えております。仕様書等にもその旨記載いたしますので、そちらの実施状況につきましては、モニタリング等を行って評価をしてまいりたいと思います。そして、指定管理者の更新時期がまいりましたら、判断材料として確認をしていきたいと思っております。

それから、4点目になりますが、現体制（直営）と比較して職員の資質に不安があるということですが、こちらにつきましても、市職員の場合も人事異動がありますので、どの職員が異動されるのか分からない部分がありますので、一概に資質の比較は難しいと判断しています。

それから、5点目ですが、短期的な指定期間となって、長期的な視野での人材

育成等が図られない可能性はないのかということですが、通常は3年から5年の指定期間になりますけれども、再指定を認めることによりまして、長期的な視野での運営が可能になるのではないかと考えております。また、指定管理事業者も、職員の研修制度を整えているところが多いので、そういった内容も確認していきたいと思っております。

それから、15ページの(6)で個人情報の取扱いに対する不安ですが、こちらにつきましては、東大和市の個人情報保護条例施行規則等で必要な規定を仕様書等に記載していくということを行ってまいります。さらに一番下の行になりますが、またというところで、プライバシーマークの取得も事業者に求めていきたいと思っております。

それから、(7)教育委員会及び図書館協議会との関係ということですが、こちらにつきましても中央図書館が直営で残りますので、運営等の支障には大きな問題はないと考えております。また、必要に応じて指定管理事業者も会議等に出席をしてもらうようお願いしたいと考えております。

それから、最後、(8)図書館に指定管理者制度がなじまないというご意見も頂いております。こちらについての考え方ですが、実態としまして、指定管理制度を導入している市町村は大分増えてきています。現在、最新の情報で18.4%の導入率となっております。それから近隣市におけるその制度の導入状況を確認したところ、どちらの自治体も評価はおおむね良好ということで確認をしております。それから、全体的に指定管理者制度の導入率が進んでいるという現状から、実態としても各自治体の判断に委ねられているなどと考えております。

それから、16ページをお願いします。

3番の指定管理者制度導入の可能性ですが、こちらにつきましては、今申し上げましたメリット、デメリット的などころから考えていきまして、東大和市の現在の運営されている状況をそのまま請負業者に担ってもらうということで、見直し後の時間等で事業者が果たして請け負っていただけるかを確認したところ、複数の事業者から請負可能という回答をいただいております。

それから、先ほども申し上げましたが、先進市の自治体に確認した中でも、利用者からの評価も高く、高い評価を得ていることを確認しております。

それから、指定管理者職員の勤務条件、こちらも徐々に改善されてきているということで、雇用者とのトラブルはあまり聞かれなくなっているという状況

でございます。

さらに、東大和市が考えておりますような中央館は直営で、地区館は指定管理者制度を導入したという事例ですと、直営に戻したという事例は確認できておりません。少なくとも都内ではそういう状況はないということで確認しております。

以上、るる申し上げましたが、東大和市の場合も地区図書館への指定管理者制度の導入は可能であると判断をさせていただきました。

そして、最後、IV、検討結果及び今後の取り組みということですが、まず直営での見直しということについてですが、こちら先ほど申しましたが、現実的には困難という判断をさせていただいております。併せて指定管理者制度の導入についての検討もしてきたわけですが、こちらにつきましては、一定の効果の可能性があるということで判断をさせていただきました。

両者を合わせまして、今後の取組といたしまししょうか、進め方としましては、一番下の3行になりますが、桜が丘図書館及び清原図書館への指定管理者制度の導入に向けた条例改正の手續や、募集要項の作成など、より具体的な手續きの検討に入りたいと考えているところです。こちらが図書館としての検討結果となります。

説明は以上です。

○真如教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

新藤委員。

○新藤委員 検討ありがとうございました。説明もよく分かりました。

私はこの東大和市に住んで44年、図書館を家族も含めて利用させていただいているわけですが、この物質的な生活だけではなく、精神的な生活の部分での豊かさが重視されてくれば、公共のサービスに対する要望というのは非常に多様なものが出てくるのは当然で、いかにそれに業者が応えていくかということが課題になると思います。

私も教員として学校に勤めていた経験からいっても、教員や学校に対する要望が上がってきます。ご存じのように今学校では働き方改革と言われるように、過労死ラインを超えているような教員が半数以上いるという実態があって、喫緊の課題としてあります。ただ単に教員を増やせば物事が解決するという簡単なものではなくて、多様な働き手をうまく組み合わせて行っていくことが、働き方改革

は進まないのではないかと思います。現行職員の体制、財政的に豊かであれば幾らでも専門職でも何でも増やしてもらえるわけですが、現実にはそうはできません。現行職員数等の体制の中でどこまでできるのか。しかも、過労死ラインなどということにならないで、働き方改革の対象になることなくできるのかという部分の見直しと、それに代わる指定管理者制度の導入があるわけですが、方法として、この二者択一しかないのか、何かそれ以外での方法はないのか、その辺の検討はいかがだったでしょうか。そんなところをお聞かせいただければと思います。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 現体制か、あるいは指定管理者以外の二者択一以外の方法ということですが、その他の方法としましては、業務委託という方法が考えられるかと思うのですが、市の民間活力の導入の方針としましては、指定管理者制度につきましては、業務委託に比べまして法制度上、選定手続きの公平性や、あるいは透明性といったところが高いということがございます。そのため市としましては、指定管理者制度を積極的に検討するというようにしており、現実的には委員のお見込みのとおり、直営か指定管理者制度のどちらかの選択になると考えております。

以上です。

○真如教育長 ほかにございますか。

内野委員。

○内野委員 地区図書館の運営が指定管理者となった場合、先ほどの説明で地区図書館を中央図書館が行っていくことが出されていましたが、中央図書館と地区図書館の役割分担はどのようになりますでしょうか。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 役割につきましては、これまでどおり中央図書館は市立図書館の中心的な役割を担っていくということになります。地区図書館につきましては、中央図書館を補完することで地域の図書館ということになります。図書資料の回送などの手続的なものは今までと変わることはございません。

中央図書館の主な業務といたしましては、資料の選書や除籍、レファレンス、それから障害者サービスを受け持つようになります。地区図書館の事業につきましては、ほぼこれまでと変わることはないと考えております。

以上です。

○内野委員 ありがとうございます。

○真如教育長 ほかにございますか。

藤宮委員。

○藤宮委員 いろいろご説明ありがとうございました。

地区図書館の運営がこのように指定管理者になった場合、図書館への意見やクレームに対しては、その指定管理者はどのような対応をなさるつもりでいらっしゃるのでしょうか。またそのクレームや意見に対して、その点に中央図書館との連携はどのようになされる予定でしょうか、お聞きしたいと思います。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 地区図書館に寄せられました意見やクレーム等につきましては、基本的には指定管理者で対応していただくこととなります。その後、内容を中央図書館へ報告していただくこととなります。

万が一解決できないようなことが起こった場合には、市の方針的な部分等につきましては、中央図書館で対応することとなります。

以上です。

○藤宮委員 分かりました。

○真如教育長 ほかにございますか。

岩田委員。

○岩田委員 地区図書館が指定管理者になった場合、現在地区図書館に勤務している職員の方々の処遇についてはどのようになるのでしょうか、教えてください。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 正規職員につきましては、中央図書館も含めまして他の部署に異動ということになります。現在、嘱託員や臨時職員につきましては、それぞれの希望を聞き取り、また具体的には職員課等と相談して、意見を確認しながら今後対応を考えていきたいと考えております。

以上です。

○岩田委員 ありがとうございます。

○真如教育長 ほかにございますか。

内野委員。

○内野委員 地区図書館の運営ですけれども、指定管理者となった場合、やはり市民の方はサービスの低下等が心配されるところだとは思いますが、そのサ

サービスの質に関してはどのようにになりますか。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 行事等の基本的なサービスの内容につきましては、現在実施している内容は実施可能と考えております。

サービスの質につきましては、接遇面では、指定管理者の利用者からの評価というのは非常に高く、実施している自治体から確認しております。それから技術面といたしましうか、難しいレファレンスという言い方をさせていただきますが、そちらにつきましては、資料が整っている中央図書館で今までも対応しておりますので、これまでどおり中央図書館で対応することになります。ただ、その場で確認できるような軽易なレファレンスにつきましては、指定管理者で対応していただくという考えでおります。おはなし会などの行事につきましても、現在の仕組みの中では指定管理者でも実施可能と考えております。

以上です。

○内野委員 ありがとうございます。

○真如教育長 ほかにございますか。

藤宮委員。

○藤宮委員 指定管理者の選定はどのように行われるのですか。また、そこでの公平性という点に関してはいかがですか。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 指定管理者の選定の手続きですけれども、まず図書館条例の改正の議決をいただきまして、その上で指定管理者制度を導入するとなった場合には、公共施設等マネジメント課が事務局になりまして、庁内で組織する指定管理者選定委員会を組織しまして、こちらで指定管理者を選定いたしまして、改めて議会に指定管理者の指定ということで議決をいただいて決定するという流れになります。したがいまして、図書館だけで事業者を決めるということではなく、他の専門的な分野の視点からも選定されるということで、より公平性は高まるものと考えております。

以上です。

○藤宮委員 ありがとうございます。

○真如教育長 岩田委員。

○岩田委員 現在、地区図書館への指定管理者制度の導入について話し合われてい

ますけれども、市民の皆さまのご意見を拝見すると、中央図書館への制度の導入に危惧する声がとても多いと感じました。その点について今後どのようなようになっていくのか教えてください。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 中央図書館につきましては、現時点では現行と同じ直営ということで考えております。しかし、将来的なことにつきましては、現時点で断定的に決めてしまうということではなく、公の施設に対する市の方針、あるいは社会の状況や地区館におけるその制度導入の評価を勘案して、必要に応じて検討していくということになると考えております。

以上です。

○真如教育長 ほかにございますか。

新藤委員。

○新藤委員 昨日も総合教育会議の席上、尾崎市長から図書館はただ単に図書サービスをするだけではなくて、やはり東大和市の歴史等を含めて伝統文化について子どもたちも含めて市民が誇りを持てるように、資料の収集整備も非常に重要な役割だというお話があったわけですが、そういった視点からも地区館が指定管理者制度に移行することによって、頓挫することも困りますし、それからこれまで収集されてきた資料等も散逸するようなことがあってはならないと思うのですが、その辺のことについてはどのようなお考えなのかお聞かせいただければと思います。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 市で購入した資料は市の所有物になりますので、指定管理者の判断で除籍することはできないことになっております。

それから、管理の方法ということになりますが、こちらにつきましては、現在、同様に今は館ごとに所蔵館というのを決めて、桜が丘の本や清原の本ということで、所蔵館方式で管理していますけれども、別の管理方法もあるようなので、今後検討していきたいと思いますが、今は所蔵館別に今までどおりで管理していくのがトラブルが少ないかなと考えております。いずれにしても除籍は中央図書館で判断いたしますので、指定管理者が勝手に判断するというようなことはありません。

以上です。

○真如教育長 ほかにはございますか。

指定管理者制度が導入されるこの後の進み具合というのは、どんなふうになっていきますか。

○當摩中央図書館長 本日、図書館における見直しについての検討結果を報告させていただきましたが、ご了承いただけるということであれば、市長部局でも先ほど部長からもありましたが報告させていただきたいと考えております。その報告の決裁後に、図書館が事務局になりまして、指定管理者選定基準等検討部会という組織を立ち上げます。その組織で条例に盛り込む内容や募集要項、あるいは協定書に盛り込む内容等につきまして調査、審議をしていきます。そして、審議の後、条例改正ということになるのですが、こちらの改正案につきましてもご審議頂いて議決をいただきましたら、次は指定管理者の募集になります。募集につきましては、公共施設等マネジメント課が主管課になりまして、指定管理者選定委員会という組織を立ち上げます。そちらで募集に応じてきた事業者の中から優先交渉権者の事業者を決定いたしまして、さらに教育委員会、議会において、優先交渉権者を指定管理者と指定する議決を改めてしていきます。そして初めて指定管理者が決定するという流れになります。指定管理者の決定までの手続きは以上になります。

○真如教育長 ほかにございますか。

新藤委員。

○新藤委員 お願いですけれども、指定管理者等外部への業務委託等をしていけば、市民の中にはそのことによってサービスの低下があるのではないかという心配は拭えないと思いますので、慎重に進めていただきたいと思います。

昨今でいうと、神戸市の児童相談所の夜の窓口がNPO法人で業務委託なのか分かりませんが、専門の職員ではなくて外部に委託していた結果、夜中に親に外へ出されてしまった小学校6年生の女の子が助けを求めたけれども、対応はインターホンだけで、警察に行きなさいということで保護しなかったという事例があるのですが、こういうことがあると、安易に外部に任せるからトラブルになるのではないかということがあると思いますので、今後の進め方については十分慎重にして、これまでどおり丁寧に行っていただければ間違いのないと思います。何度も何度も詳しく様々な要望に応じて検討していただきましたから、その姿勢を保っていただいて、選定に十分配慮していただくと同時に、実際に運営してか

らも十分に目を配っていただいて、市民の要望に少しでも答えられるような努力をお願いしたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

○真如教育長 ほかにありますか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質問がないようですので、報告事項(4)地区図書館の開館日及び開館時間等の見直しについて～市立図書館における検討結果～(案)について以上といたしたいと思ひます。

さらに次の段階で検討を進めてもらうことにしたいと思ひます。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 またそのときには改めて教育委員会にも付議されることとなりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

それでは、次にまいります。

次に、報告事項(5)「東大和市子ども読書活動推進計画 平成30年度実施状況報告書」について、本件の報告をお願ひいたします。

中央図書館長。

○當摩中央図書館長 それでは、その他報告(5)です。第二次東大和市子ども読書活動推進計画の年次報告です。

第二次の東大和市子ども読書活動推進計画がスタートしまして、平成30年度が最初の年になります。前回の計画との大きな違いといひますと、来年度は東京オリンピック・パラリンピックがござひますので、その関係の項目がプラスされていひ、そのほかの事業につきましては、今までの事業の継続が非常に多くなつておひます。

今回の報告書につきましては、前年との比較ができませんので、目標に対する内容を掲載させていただいておひますが、次年度以降もこの計画に基づいて事業を進捗していきたいと思ひておひます。引き続き関係機関には進捗状況に留意を願つてもらふことで、より良いものにしていきたいと思ひておひますので、簡単ですけれども報告は以上になります。

○真如教育長 報告が終わりまひました。

ご質疑があれば、ご発言をお願ひいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○真如教育長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもって令和2年第2回東大和市教育委員会定例会を閉会といたします。

午後 3時16分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長 真如 昌美

会議録署名委員 藤宮 志津子